

参加無料
公開
シンポジウム

自治体の災害対応および応援受援活動の全国調査

令和6年能登半島地震

自治体による レジリエントな災害対応を目指して

2024
12/20 金
15:00-17:00

参加申込は
こちら! ▶



近い将来に発生が懸念されている首都直下地震や南海トラフ地震のような国難災害において、わが国は適切な対応が可能なのでしょうか。

この課題意識のもと、防災科研は、令和6年1月に発生した能登半島地震において、災害対応や応援活動に取り組んだ自治体ならびに自治体職員を対象として、自治体の災害対応および応援受援活動の全国調査を行ってまいりました。ご多忙の中、調査にご協力いただきました皆様には、心より感謝申し上げます。

このたびのシンポジウムでは、調査の進捗状況と、暫定的ではありますが、そこで得られた成果の一部をご報告いたします。また、それらを踏まえた、将来の国難災害に向けたわが国の災害対応の改善課題や今後に求められる研究について、有識者や災害対応の現場を担う行政職員の皆様とともに議論を深めたいと考えております。

行政職員の皆様をはじめ、災害対応のDX化に関わる民間企業や研究者の皆様など、幅広い方々のご参加をお待ちしております。

📌 プログラム (開場: 14:30)

- 15:00 **開会挨拶・趣旨説明**
永松 伸吾 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門長
- 15:05 **来賓挨拶**
大慈弥 麻里亜 文部科学省 研究開発局地震火山防災研究課 防災科学技術調整官
- 15:10 **調査中間報告**
・調査の概要
・応援地方自治体へのヒアリング調査
・全国の地方自治体へのアンケート調査(団体調査および職員調査)
- 15:55 **パネルディスカッション**
～国難災害に向けた災害対応と応援・受援の課題～
【コーディネーター】
黒田 洋司 一般財団法人 消防防災科学センター 審議役
【パネリスト(順不同)】
田中 聡 常葉大学社会環境学部・大学院環境防災研究科教授
原 雅有 愛知県防災安全局防災部災害対策課 担当課長
マシュー・マツヤマ 米国連邦危機管理庁(FEMA)連邦保険局
宇田川 真之 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門
- 16:55 **閉会挨拶**
阿蘇 隆之 防災科学技術研究所 理事

プログラム内容は予告なく変更される場合があります。

📌 会場:秋葉原コンベンションホール

〒101-0021東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル

📌 定員:100名 先着順受付 事前申込み締切 12/18(水)



主催:国立研究開発法人 防災科学技術研究所

問合せ E-Mail : nsdrl@bosai.go.jp

自治体の災害対応および応援受援活動の全国調査Webサイト
<https://nied-weblabo.bosai.go.jp/NSDRL/index.html>

生きる、を支える科学技術

 **防災科研**
NIED